

# 令和5年度 学校自己評価システムシート ( 県立羽生高等学校 )

目指す学校像	主体的に学ぶ力と豊かな人間性を育成し、地域に開かれた学校づくりを推進する
--------	--------------------------------------

重点目標	1 生徒個々の能力や適性を把握し、少人数の良さを生かした指導方法を工夫・共有して、基礎学力の定着に努める。 2 生徒の進路意識を高めさせ、進路実現を促す指導を推進する。 3 生徒に基本的生活習慣を身に付けさせ、社会性を培い、規律ある明るい校風づくりを推進する。 4 学校自己評価システムの効果的な活用を図り、広報活動の一層の充実に努め、地域の生涯学習機関として貢献する。
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校関係者	名
出席者 生徒	名
事務局 (教職員)	名

学校自己評価							学校関係者評価	
年度目標					年度評価 ( 月 日現在 )		実施日 令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	【現状】 生徒が抱える課題は多様化している。さらに基礎学力に課題を抱えた生徒もいる。しかし「学び直しと自立の支援」に向けた組織的な取り組みにより改善も進んでいる。 【課題】 ・主体的な学びに向けたICTの利活用推進 ・新学習指導要領の着実な実施と観点別評価の定着	学力向上と生徒個々のもつ課題解決の組織的な取組の実践	①少人数の良さを生かした「わかる授業」を実践するため、学習支援を始めとする県諸事業の活用をさらに進める。 ②一人一台タブレット導入を踏まえ、ICT利活用の環境について組織を活かして、さらに深化させる。 ③観点別評価の課題について改善を図り、これに基づいた効果的な指導について実践する。	①授業に対する満足度や教員間の学び合いの状況 ②一人一台タブレットの活用状況及びICTを利活用した授業の実施 ③評価に関する組織的な取組及び継続的な検討と校内での共有状況				
2	【現状】 近年は就職内定や進学決定の状況が向上している。探究活動やキャリアパスポート活用も組織的に取り組んでいる。 【課題】 ・自らの進路決定に主体的に取り組む姿勢の醸成 ・個々の状況を踏まえたキャリアの育成	キャリアに応じた、生徒一人一人の進路意識の向上と進路実現	①就職支援アドバイザーを活用した進路指導をより充実させる。 ②キャリアパスポートを活かした生徒の自立支援とキャリアの伸長を目指す。 ③探究活動を充実させ、生徒の主体的な学びを支援する。	①就職支援アドバイザーの活動や生徒支援の様子の情報共有状況 ②キャリアパスポート作成とその活用状況 ③年次毎のキャリアに応じた探究活動の実施状況				
3	【現状】 規律は概ね保たれており、校内は落ち着いた学習環境である。教育相談体制も組織的に運営、教育相談の機会を必要とする生徒も多く、今後も支援を充実させる必要がある。 【課題】 ・生徒指導体制の充実 ・教育相談体制の充実と資源の効果的な活用 ・情報モラル教育の推進	教育相談による生徒支援体制のさらなる充実 予防的且つ啓発的な生徒指導の推進	①スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等を有効的に活用し、生徒への支援をより充実させる。 ②校内外の情報を機能的に集約することによる生徒実態の把握と共有をさらに推進する。 ①SNS等のトラブルを未然に防ぐため、情報モラル教育をさらに充実させる。 ②校外の巡回指導に学校全体で取り組む。	①相談機会及び情報共有(含むケース会議)の状況、教育相談機会の保護者等への周知状況 ②校内における情報共有状況と外部機関との連携状況 ①授業における本校独自プログラムの実施状況 ②巡回指導の回数と状況				
4	【現状】 地域に根差した学校となっており、生涯学習の拠点としての評価も高い。本校HPでは適時性をもって、教育活動の様子を発信できている。 【課題】 ・新たな情報発信手段の確保 ・コロナ禍後を意識した公開講座や学校公開、PTA活動の実施	保護者、地域、関係機関等との連携強化	①HPの積極的な更新、広報紙発行により本校の魅力を地域に発信する。また新たな情報発信手段も検討する。 ②コロナ禍後を踏まえた公開講座や学校公開、授業公開等を実施する。 ③PTA活動の活性化を図る。 ④分掌毎に発信する生徒向け啓発資料等の充実を図る。	①HPの更新回数及びアクセス数向上や広報紙作成状況等 ②公開講座、学校公開、授業公開の回数や実施状況 ③PTA行事等への保護者の参加状況 ④発行状況と内容の充実				